

mmc NEWS

MEIDAI MASS-COMMUNICATION CLUB

発行 明治大学マスコミクラブ
 〒101-8301
 東京都千代田区神田駿河台1-1
 明治大学広報課内 MMC事務局
 電話 03-3296-4082
 FAX 03-3296-4087
 e-mail : mmc@meiji-mmc.sakura.ne.jp
 URL : www.meiji-mmc.com
 発行人 本村 隆
 編集 馬淵 豊・梶野 雅秀

MMCフォーラム2012開催 世界でNo.1のファーストフード店 「サブウェイの成長戦略」



今回のMMCフォーラムは、日本サブウェイ株式会社の伊藤彰社長（1982商卒）を講師にお招きして開催しました。講演タイトルは「サブウェイの成長戦略」

タイトルにあるように、サブウェイは全世界100か国で約37,000店を展開する店舗数世界一の外食チェーンです。伊藤社長は、大学を卒業し、サントリーに入社後7年目の国際部に席中に、その当時国際部がサントリー製品の販路拡大とブランド認知のため展開していた「レストランサントリー」のマドリッド店（スペイン）立上げに参画、その後支配人に。その時から今に至るまで外食産業にかかわることになります。

マドリッド立上げ後も、国際事業部の海外レストラン展開の指揮を執りつつ、メキシコシテイ・アカプルコ・サンパウロ・

アトランタ・シカゴ・バンクーバー・ロンドン・パリ・ミラノ・マドリッド・シンガポール・台湾・ケアラレンブル・ジャカルタ・シドニー・メルボルン、と「レストランサントリー」を現地で立上げる仕事で文字通り世界を駆け巡る時代が続きます。

国際派で外食のプロとなった伊藤さんが日本サブウェイに出向を命じられた1998年は、サブウェイが日本進出後、試行錯誤を繰り返していた時代。それまでのマーケティング手法を検証しながら、伊藤さんは日本でのサブウェイのブランドイメージの再生に取組みます。

2003年社長就任後、「野菜軸」でのブランディングを強化、「野菜のサブウェイ」のコミュニケーション戦略を打ち出し、野菜を通して日本人の「健康寿命」を伸ばすことを企業ビジョンに掲げました。店舗運営も含め日本型のフォーマットを確立することで、ビジネスモデルを変革。その後、急速に出店数は増加し、社長就任の年の93店が現在は355店を超えています。



講演の内容では、少子化やシニア人口の増大という日本の環境と、人口拡大を続ける世界市場を睨みつつ、健康指向、本物指向、そして国産食材を自ら開拓していくことで、消費者の支持を受けていった過程が印象的でした。

「日本の食と農」に賭ける意気込みは本物で、将来の食料危機に備えて、独自の植物工場建設に力を入れるなど、日本の農業の未来も見据えた事業展開に感銘を受けました。国際経験だけではなく、学生時代に日本中の地域を旅した「民族文化研究会」での経験も、この「日本の食と農」に対するこだわり原点になっていたのではないかと感じました。

当日は、大学側の協力によ

り応募をかけた現役学生も多数出席、当日参加の会員も含め総勢102名の参加者で会場内は、いつにも熱気に包まれていました。

講演後は最寄りのサブウェイからサンドイッチを取り寄

MMC 30周年記念総会・懇親会開催、総勢102名参加 記念講演に作家・東京都副知事の猪瀬直樹氏 サプライズゲストに明大野球部

30周年の節目に当たる記念すべき新年総会が今年1月21日、午後2時40分からリハビリタワーで開催されました。地方会員のために開催日を土曜日に設定するなど事前の準備が功奏し当日は102名が参加、完成したばかりのMMCホームページのお披露目や猪瀬直樹氏の記念講演など盛りだくさんの内容で参加者の関心を集めました。

夕方からは場所を紫紺館に移しての懇親会。長堀理事長（当時）はじめ親睦団体など多数の来賓を迎えて盛大に行われました。サプライズゲストには昨年活躍した野球部のメンバーが顔をそろえ、MMCからの応援の気持ちを込めた「激励費」が本村会長から贈呈されると会場は拍手の渦に包まれました。また記念映像「MMC 30周年ヒストリー」がスクリーンに映し出されると場内は静まり返り、これまでの様々な想い出がよぎったの

せ「成長の秘密」を試食。参加者からは、「サブウェイってこんなに美味かったのか」との感想も出て、頭もお腹もサブウェイで一杯の一夜となりました。

MMC副会長 和田哲郎（77年・政経）

か、OB会員たちの感慨にふける姿が印象的でした。

さすが30周年の感あり、参加者それぞれがMMCの絆の強さをあらためて感じた意義ある総会・懇親会となりました。梶野雅秀（75年・法）



MMC社員トピックスー編集プロダクションのうー

「信頼」「共感」「感動」のコンテンツ作りを!

株式会社風讀社 企画編集部 (ナビブラ神保町編集部)
校條 真 (1984年政経学部卒)



など、紙媒体・電子媒体を問わず、あらゆるコンテンツの編集・制作を行っています。

メインはなんといってもマガジティ分野のNo.1雑誌「たまごクラブ」「ひよこクラブ」「ベネッセコーポレーション」や「たまひよブック」などの関連ムック、そしてストリートファッション誌「SEDA」(日之出出版)の企画編集です。

MMCの皆さん、やっとかめです! MMCではいつもドラゴンズ話にうつつを抜かしとる「われらマスコミ・ドラゴンズ会」の校條 真です。年齢53になつて、まだ高校2年と小学6年のドラ息子がおるので、深酒も我慢してがんばつとります。今回は私の「仕事」について少し紹介させていただきます(以上、岐阜弁にて)。

さて弊社は、企画・編集校正・Web制作デザイン・DTPに至るまで、編集制作のすべての機能を持つ総合編集プロダクションです。「信頼」「共感」「感動」を主眼に置いて、雑誌、ムック・書籍からカタログ、パンフレット、PR冊子、看板、ポスター(東京名物「神田古本まつり」の横断幕やのぼりも弊社の制作)

またこの春には、明大OGで、下町の肝っ玉母ちゃんとしてマスコミにも登場した佐々木直子さん著『子育て七

転び八起き』(産業編集センター)を編集。また、公私

ともどもお世話になつて東京中日スポーツでは、順天堂大学・白澤卓二先生のコラム「お手軽 アンチエイジング講座」(毎週金曜掲載)をプロデュースしています。

会社は母校の目と鼻の先、神保町交差点から白山通りを水道橋方面に向かつて徒歩5分! 1階は卓球場があるコンビニとして有名なファミタク(ファミリーマート)があるビルなので、この界限に超越しの際はぜひお声掛けください。昼でも夜でも「割り勘」でいい店をご紹介します(笑)。

ご拝読、どうもありがとうございます! ございました!

新たな取り組みの提示

有限会社秋耕社代表
小林 一郎 (1975年政経学部卒)



いる、というのが本当のところ、実情でしょう。

かつて、出版業は景気の動向に左右されない業種、と言われましたが、もはやそんな特別扱いの業種などないでしょう。雑誌は廃刊、ないしはページの減少、単行本は売れ行きが落ちていく分、売り上げを維持するため、点数は増えているはずですが、なぜか編集プロダクションまで、仕事がまわってきません。

こんな辛い状況が編プロ(編集プロダクション)業界全体に漂っている、といつていいでしょう。

で、協力会社、という立ち位置において古くて新しいテーマ。出されたものを黙々とこなすだけでなく、知恵を出し、企画提案をし、受注を自ら創造する、というのがあります。

これまで、他業種の取材を通して、協力会社の企画提案といった取り組みを見てきましたが、これもうまく行つていようには見えません。

とはいえ、そこで、当社が新たに進めているのが、編集プロダクション業務の枠から外れた著者としての出版活動です。きっかけは、増し刷りか新

たな本を出すか迷っているという出版社の編集者から出た「小林さんが、書いてくれれば、新学期に間に合うんですけど」という一言。そこで、「冊分書くことになりました。」

以降、そんなことを進めていくうちに、当社からの企画提案する書籍にも、著者として本を書いてきた経験と資料等を活用した、本づくりも提案できるようになってきました。これが、編集プロダクションとして、他社との差別化に繋がった、と考えています。

ちなみに、現在、新刊として出ているのは、「ガード下」の誕生(祥伝社新書)。これは、新聞、雑誌のほか、テレビ、ラジオでも数多く取り上げていただき、1ヵ月半ちよつとで増刷していただけるようになりました。

この夏には、うちの事務所の方が「東京を走ろうー」自転車で都心の花と緑を訪ねる小さな旅(仮題)を平凡社新書から刊行する予定です。

この著者としての付き合いはあくまで本業ではありませんが、現状の編集プロダクションとしての生き残り方策としての、一つの提示ではないかと考えています。



リレーはマイゼイ北から南から

シンガポールの メディアに触れて 有山美代子 (1999年経営学部卒)



現在3児の母、シンガポールで子育てに頑張る有山さん

私は99年3月に経営学部を卒業後、通信事業社に勤め、現在は第三子の育児休暇中です。夫の転勤に伴い、シンガポールへ渡り(島流し?)5年目になります。

シンガポール共和国は多民族共存の文化により、多言語のメディアが身近にあるのが特徴的です。(1)英語(2)中国語(マンドリン)(3)マレー語(4)タミル語の四つの言語が公用語として憲法に定められています。路線バスに乗れば、四つの言語で注意事項が表示され、新聞は言語毎に発行、テレビ放送も言語毎にチャンネルが分かれています。2011年9月に第7代

大統領に就任した、Tommy「呂」氏は2005年からシンガポール・プレス・ホールディング社(SPH)の会長を務めていました。第6代大統領のNathan氏も、80年代に同社の会長を務めていた経歴の持ち主です。SPHは主に出版メディアを担っている大手複合メディアグループです。もう

一つのメディアグループは、主に放送メディアを持つメディアコングレートです。両社共に国との強い繋がりをもち、日本のように新聞・テレビ・ラジオの複数の事業を保有する複合メディアグループの、強い競争関係にはありません。

シンガポールにおける個々のメディアとしては、テレビ(地上波・ケーブル)、ラジオ(FM局のみ)、新聞(有料紙フリーペーパー)、雑誌(各種フリーペーパー含む)などがあります。6月下旬、サッカー日本代表ゴールキーパーの川島永嗣選手が、当地の障害のある方と健全者との交流イベントに参加するために、昨年引き続き2度目の来星をし、邦人家族やシンガポールの障害のある方々と親睦を深めた様子が「Today」フリーペーパー(部数最大・英字タブロイド紙)でも報道されていました。語学堪能(英語・イ

タリア語・ポルトガル語・スペイン語他)で有名な川島選手と一緒にプレーをした大人や子ども達は、日本代表選手が「スポーツ」という共通言語を通じて交流することに加え、日本語と英語で流暢に挨拶をする様子に、沢山の勇氣と力をもたらしたに違いありません。

シンガポールは人口の約35%が外国人ですので、世界各地の言葉によるフリーペーパーやラジオ放送があります。在留邦人向けのフリーペーパーも各種あり、日系企業や病院・レストラン、日本人小学校やインター校などの窓口で気軽に手に取ることが出来ます。当地の明治大学校友が50人以上集う「星和会」の活動模様も掲載されています。

ぜひ、「明治大学・星和会」で検索してみてください！



交流イベントで川島選手と、長女・夏澄ちゃん(2歳)を抱く有山さん。隣は夫と二男・隼人くん(5歳)

NO.22 MMC就職セミナー開催



ウンサーセミナー。初めに、石川テレビ、テレビ北海道のアナウンサーを経て現在フリーアナウンサーで頑張っている丹羽真由美氏がまさに美しい言葉で語っていただきました。新聞からは産経新聞東京版デスクの慶田久幸氏、記者としての生き甲斐が伝わってきました。更に読売新聞記者の竹ノ内知宣氏がこの会にデビュー。

出版業界からは小学館の二人、小学二年生の編集長後藤千鶴子氏とビックコミックスペリオール浜本邦夫氏。更におなじみPH P研究所の太田智二氏からは出版界を大きく変えてしまうかもしれない電子出版の可能性について詳しく語っていただきました。

3日目は制作・エンタ・ITセミナー。まずおなじみホリプロの林部宏子氏、ホリプロの多彩さを、同じくヨシモトクリエイティブエージェンシーの佐藤詳悟氏が「よしもと」のスケール感を。さらに制作会社AXONの須藤和幸氏から現場の面白さ。初登場組として、IT関連サイバーエージェントの植松瞳氏からは知られざるIT企業の先進性を、講座OB出身ドリマックスの鈴木博之氏からテレビ制作現場の厳しさと楽しさを伝えていただきました。総じて我々マスコミの現場にいる者からしても興味深い話の連続

で、業界としての面白さが少しでも学生諸君に伝わってほしいと祈るばかりです。

大林龍彦(1978年・政経) 学生に「面白いパネラー」として

3年前とは逆から見られる景色。上がった壇上の先には輝く目がいづつもあつた。

3年前の春、大学3年だった私はドラマ本でテレビ業界を目指し、MMC就職セミナーに参加していた。いつか自分もテレビ業界に入つて、あの舞台上立つことが一つの夢となつて来た。

その日は訪れた。社会人2年目となる私はリバイターホールで学生の前に立った。緊張と興奮状態で上がった壇上、走馬灯のように昨年関わった自分の作品を思い出した。

他のOBの方が学生の前で業界の専門的なことを語る中、私は学生に一番近いということからリアルな現場について、入る前と入ったあとのギャップなどを語った。最近関わったブックボードという作品では、2週間家に帰れなかつたこと、一睡もせずロケを続けていたことなどを語り、現実の厳しさを伝えたかった。憧れだけではやっついていけない世界。学生の皆さんには自分の夢を強く持ち、覚悟を決めて就活を闘ってほしい。MMCで教わった熱い気持ちを忘れず、日本中を胸キンさせる自分の作品の実現を目指していきたい。 鈴木博之(2011年・農)

武内裕杯観桜コンペ報告



開花の気配全くなし

一昨年は3月26日に実施したが開花なし。昨年は4月1日開催、開花見られず。今年は3月28日全く開花せず。相模カンツリーでは桜が咲いてない時でも白いこぶしが咲いて代役を務めてくれるのだが今年はそのすら咲かない。地球の温暖化が叫ばれて久しいが桜の開花とは関係ないのか？それでも晴天温暖な絶好のゴルフ日和だった四組十六人参加人数であった。

秋大会に続き堀さん二連勝

堀さんがこのコースの会員だからと言って事前に隠しホールを知っているわけではありませぬ。ともあれ、武内裕作の優勝カップが春の桜柄、秋のもみじ柄と対でゲットしました。この満面の笑みをとくとご覧ください。

今回も優勝カップの他、沢山の高価な焼き物を武内さんにはご寄贈いただきました。ありがとうございます。武内さんもゴルフをやるのことはまは参加してほしいものです。

久々の参加大森さん

明大昭和会マスコミクラブ時代、このコンペの創設者の一人でもある大森豊さんが久々に参加された。以前は優勝、ベスグロの常連であったが現在もその実力はごらんのとおりです。

求む参加者 誰が堀さん

今回は若手の参加が少なく（と言ってもそんなにはいませぬが）一組キャンセルした後に申し込まれた方もあり四組にとどまりましたが幹事としてはせめて五組ぐらいでにぎやかに開催したいと思っております。秋のコンペは11月頃開催予定です。

幹事・榎郁太郎（64年・商）
（申込連絡先 090-2247-1121）



優勝の堀氏

順位	氏名	アウト	イン	グロス	ハンデ	ネット
優勝	堀 威夫	47	48	95	26.0	69.0
2位	宇野 大勝	50	45	95	23.6	71.4
3位	大森 豊	44	52	96	22.4	73.6
4位	林光繁	42	41	83	9.2	73.8
5位	佐々木 共成	42	40	82	8.0	74.0
6位	茂木 達郎	43	44	87	12.8	74.2
7位	山田 祐司	53	55	108	33.2	74.8
8位	榎 郁太郎	47	53	100	24.8	75.2
8位	大西 敏勝	50	56	106	30.8	75.2
10位	木村 武	49	56	105	29.6	75.4
11位	齋藤 柳光	50	47	97	21.2	75.8
12位	久保田 研平	50	50	100	23.6	76.4
13位	永井 進	49	44	93	14.0	79.0
14位	奥 福雄	52	52	104	24.8	79.2
15位	千田 正徳	64	62	126	40.0	86.0
16位	大林 龍彦	57	63	120	33.2	86.8

※ハンデは、新リア方式
2012年3月28日
相模カンツリー倶楽部

第18回銀座作陶展を終えて

継続は力なり

今年も恒例の「武内裕 作陶展」を4月22日(日)～29日(日)まで、銀座シルクロード画廊にて開催しました。おかげさまで、今回もMMCの皆様に応援していただき、賑やかに終了できましたこと、感謝しております。



昨年9月に、横浜高島屋で展示会をした時に、実演で龍の絵を見せました。その時、お

第2回MMCサロン開催

4月20日、今年初めてのMMCサロンがおなじみ「アミ」で開かれました。今回は、諸先輩のお話を聞いてみたいとの声を反映して事前にお声をかけたところ、多くの先輩方に出席いただきました。大手新聞社で編集委員をされていた大御所から管理職クラスのOBまで顔触れ

は様々。「久しぶりにアミに行きまして、MMCの皆様と自由に懇談することができ、厳しい経済環境のなかで忌憚なく近況を話し合うことができました。先輩後輩関係なくフランクに情報交換の場としてこれからも出来るだけ参加したいと思います」(納谷菊夫・70年政経卒)と評判は上々。これからも楽しみな「サロン」が続きます。

MMC野球部創設

今回草野球チーム「MMC野球部」を創設したく、皆様の参加を募らせて頂きます。先日MMCサロンに参加致しまして、NTTアド柳澤様からとても興味深い話を伺いました。それは大学卒のOB親睦団体でMMCと交流が深い建設・不動産協会様が、草野球チームを大学別に結成し六大学対抗リーグをやっているという話です。

私自身大学在学中に軟式野球サークルに所属しており野球が大好きですので、同じような事をMMCでも出来ないかと思いました。また創設に当たり色々分からない事もあるので、どなたか野球経験のある方のご意見をお聞かせ下さい。小野友巳(10年・文) メール: ono@keizopro.com

ケータイ: 080-5080-0609



訃報

林 邦夫 (はやしくにお) さん (昭和41年法学部卒) が平成24年1月1日逝去されました。享年68歳
元松井建設執行役員

霜田 有希夫 (しもだゆきお) さん (昭和38年政経学部卒) が平成24年4月30日逝去されました。享年71歳
明大昭和会元代表幹事
ファーストオリエント企画(株)代表取締役

ご冥福をお祈り申し上げます

編集後記

今年も梅雨が明け、東北震災、大飯原発の再稼働1年半が経とうとしています。MMCニュース24号をお届けします。皆様からドシドシ投稿ください。(Y・M)